# 会議結果のお知らせ

令和7年度宮古市文化財保存活用地域計画推進協議会を次のとおり開催しました。

令和7年8月22日

宮古市文化財保存活用地域計画推進協議会

- 1 開催日時令和7年7月4日(金) 午後2時00分~3時40分
- 開催場所 崎山公民館 多目的ホール

## 3 議題

- (1) 宮古市文化財保存活用地域計画について
- (2) 宮古市文化財保存活用地域計画概要版について
- (3) 宮古市文化財保存活用地域計画の進捗について
- 4 会議の概要

事務局より説明を行い、意見を聴取した。詳細は別紙会議録のとおり。

5 問い合わせ先宮古市教育委員会事務局文化課学芸係電話番号0193-65-7526

## 令和7年度宮古市文化財保存活用地域計画推進協議会 開催結果

1 出席者(14名)

海津ゆりえ・加倉井理佐・木村香央美・佐々木信一・柳澤忠昭・坂本紗綾・佐々木隆文・佐々木尚敬・澤田亮・盛岩幸恵・中村菜摘・新屋正治・武田章・中村博文

2 欠席者(1名)

神楽栄子

3 事務局出席者(13名)

教育委員会教育長 伊藤晃二、教育委員会事務局教育部長 田代明博、教育委員会文化課長 假屋雄一郎、教育委員会文化課学芸係長 江口邦泰、同係 中島昌紀主査、千葉剛史主査、菊池駿貴学芸員、沼﨑雅弘学芸員、教育委員会文化課埋蔵文化財センター 長谷川真所長、同係 上條瑞貴文化財調査員、市史編纂室田﨑農巳室長、北上山地民俗資料館館長 安原誠、北上山地民俗資料館主査兼学芸員 髙橋希環子

4 傍聴者

なし

- 5 議事等
  - (1) 会長・副会長の選出について 会長に海津ゆりえ委員が、副会長に佐々木信一委員が選出された。
  - (2) 宮古市文化財保存活用地域計画について 文化庁の認定を受けた宮古市文化財保存活用地域計画の概要について説明 を行い、意見を聴取した。
  - (3) 宮古市文化財保存活用地域計画概要版について 宮古市文化財保存活用地域計画の内容を分かりやすく伝えるため、令和7年 3月に刊行した宮古市文化財保存活用地域計画概要版について事務局から 説明を行い、意見を聴取した。
  - (4) 宮古市文化財保存活用地域計画の進捗について 令和11年度までの進捗管理は宮古市文化財保存活用地域計画進捗シート により進めることを事務局から説明し、意見を聴取した。

質疑応答内容	
質問・意見	回答
【会長・副会長の選出】	
< <b>  &lt; 異議</b> なし>	
【議題(1)「宮古市文化財保存活用地域計画	
について】	
(委員)	(事務局)
関連文化財群「宮古物語」について、これ	今後調査や研究を通じてストーリーを磨
を通じてどのような取り組みを考えている	き上げ周知していく。
か。	
(委員) 学校授業における文化財の教材化について、地域を良く知る専門家の育成が必要であり、学校と関係機関とを繋ぐ中核を文化課に担ってほしい。(意見)	
(委員) 市内に残る未指定の文化財について、重要なものを拾い出し文化財の指定を増やしてほしい。(意見)	
(委員) 文化財の案内板について、入口が分かりづ らい所は改善していただきたい。(意見)	
(委員) 小中学校から高校まで連携して文化財の 周知や活用、継承などをすすめていく旨は計 画の中に入っているか。	(事務局) 学校の他、みやっこベースなどの関係団体 と連携した取り組みを検討している。
(委員) 文化財のPRについて、浄土ヶ浜・三王岩の他に、盛合家や東屋などの観光ルートを増やしていくことが必要ではないか。また、旅行エージェントに向けて文化財を発信するこ	

とが必要ではないか。 (意見)

## (委員)

観光面で文化財を活用することについて、 問い合わせを受ける窓口やガイドの養成が 必要ではないか。 (意見)

#### (委員)

市民が参加しやすい取り組みについてどのような活用を検討しているか。

### (委員)

子供が興味をもってもらえる取り組みについて、文化財を紹介するスマートフォンアプリやカルタのようなもので文化財を紹介してはどうか。(意見)

#### (委員)

郷土芸能は団体数が減り、次の世代に伝承し残していくのが難しい現状がある。継承するための取り組みは計画しているか。(意見)

【議題(2)「宮古市文化財保存活用地域計画 概要版について】

<質疑なし>

【議題(3)「宮古市文化財保存活用地域計画 の進捗について】

#### (委員)

進行管理について、PDCAサイクルの手法により進めるとあるが、単年度で回していくのか、6年のなかで回していくのか。

### (事務局)

自宅のものを持ち寄り展示する取り組み を検討している。

#### (事務局)

地域クラブ活動のような形で児童・生徒が 郷土芸能の歴史・文化を調べる活動を創出し ていきたい。

# (事務局)

計画期間にあたる令和6年度から11年度 までの6年間を踏まえ、取り組みの内容変更 や地域計画の見直しを行う。